

宝塚市政記者クラブ各位

－第 10 回支援本部会議について－

- 1 開催日時 平成 23 年 4 月 18 日（月） 午前 9 時すぎから
- 2 場 所 3－3 会議室
- 3 出席者 別紙参照
- 4 確認及び報告事項

(1) 秘書課からの写真を使った被災地視察結果報告

- 4 月 14 日（木） 大船渡市視察 : 場所 大船渡市役所、リアスホール
4 月 15 日（金） 大槌町視察 : 場所 中央公民館（災害対策本部）
遠野市視察 : 場所 遠野市役所西館・救援物資集積所

(2) 市長からの視察結果説明

○大船渡市

- ・大船渡市長、大船渡前市長、商工会議所会長等と面談。
- ・大船渡市からは、炊き出し隊のお礼があり、本当に嬉しかったと感謝されていた。
- ・大船渡市は、市庁舎や消防、警察も機能しており復興に向けて着実に動き始めていると感じた。
- ・大船渡市は着実に復興は向けて動き出している。市民とともに 3 か月をめどに復興計画の策定を予定している。

○大槌町

- ・大槌町副町長と面談。
- ・大槌町役場、消防、警察が津波で流され機能が大幅に低下したままである。
- ・遠野市が大槌町などの被災地後方支援を実施している。
- ・9 月をめどに仮設住宅建設計画をしているが、あと 5 か月避難所で生活できるか疑問。

※両市町に対して、市より各 100 万円見舞金をお渡しし、さらに、宝塚市職員から集めた義援金各 100 万円と市民から託された義援金を大船渡市へ届けた。また、「励ましのお手紙」、「寄せ書き」も両市町に届けた。

○遠野市（沿岸部の被災都市を後方支援しているケースとして視察を勧められ訪問）

- ・市長、副市長と面談。
- ・市庁舎が全壊で使用できない。今後、スーパーの二階フロアーに市庁舎を移転するなど、お金をかけずに復興することとして取り組まれている。
- ・市自体も被災を受けているのに、より被害の大きい沿岸部の他市の後方支援に力を入れられている。

(今後の支援方針)

○大船渡市関連

- ・被災者のメンタルケア支援のため今後専門知識をもったスタッフ（心理療法士など）の継続した派遣を検討。滞在期間は 1 ヶ月程度が理想。

- ・被災した地元企業の物品を西日本で販売するなど、県、商工会議所と連携した商工業への支援が今後必要になる。
- ・ボランティアで構成された「宝塚希望応援隊」による炊き出しなどの実施。

○大槌町関連

- ・副町長より被災者の健康保持の点から、野菜の必要性が求められており、比較的長持ちする野菜ジュースの物資提供の要望があった。
- ・遠野市が行っている後方支援への協力。
- ・災害孤児への支援は、今後の課題とする。

○遠野市関連

- ・水道、通信、道路、建物診断など専門知識をもったOB、再任用の方を後方支援業務に派遣することを検討。

○全般事項

- ・東北地方の名産品の販売促進など商工業への支援。
- ・兵庫県要請である宮城県南三陸町への支援については西宮市と連携することも検討する。
- ・明日19日支援本部会議で今回の市長の被災地訪問をうけての各部での取り組みの検討を行い、提案・議論などをお願いする。

5 問い合わせ先

災害支援担当

TEL 0797-77-9118 (直通)